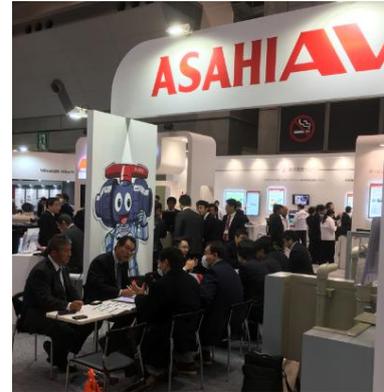


第1回 次世代 火力発電 EXPOに出展しました

3月1日～3日にかけて開催された火力発電 EXPOに出展し、ASAHI AV 製品の実物を展示、来場者の皆様に紹介しました。

国内における火力発電のニーズは高まってきており、今回の展示会では、火力発電所の冷却ライン向けの PDCPD 製バタフライバルブや排煙脱硫工程向けの P P 製のタンクやパイプなどを主に提案しました。

プラスチック製品に対するお客様の関心度は高く、開催期間を通して弊社ブースにはたくさんのお客様が詰めかけてくださいました。700mm のバタフライバルブが樹脂製であることに驚いている方もいました。



冷却ラインに使用されるバルブは、発電に用いられた蒸気を冷やすため、常時海水を通水するため、腐食が問題となりますが、樹脂 PDCPD 製の大口徑バタフライバルブは高レベルな耐腐食性が期待できます。海水ラインに対して十分な実績があり、さらには軽量かつ短納期でもあります。

<700mm バタフライバルブ 58 型と弊社社長藤原>

燃料を燃やした際にできる有害物質を除去する排煙脱硫工程では P P 製のタンクやパイプを提案しました。強酸性のスラリーが通る同工程では、ゴムライニングした金属材が用いられるケースが多く、P P 製に置き換えることで寿命を 2 倍以上に持たせることが可能になります。



その他の展示バルブ

< P P ピット更生 >

< P P 配管ライン >



<ダイヤフラムバルブ 14 型 エア式 AP 型>



<PDCPD 製 浅層埋設対応空気弁・補修弁>

耐食性や軽量さなどの配管材料としての使い勝手を駆使し、提案してまいります。ご来場いただきましたお客様には感謝申し上げます。